

「西九州観光まちづくり AWARD」受賞者決定！

— 西九州エリアで地域に根付き、「まち」の魅力をうみだす「ひと」 —



JR九州では、9月23日に西九州新幹線の開業を控え、大きな変化を迎える西九州エリアで、地域に根付き、魅力あるまちづくりに貢献されている皆さまにスポットライトを当てるべく、「西九州観光まちづくり AWARD」を5月27日付でお知らせの通り創設しております。

このたび、審査委員会による審査を終え、受賞者が決定いたしましたのでお知らせさせていただきます。候補者の募集に際し、ご応募くださいました皆さま、誠にありがとうございました。

■ 受賞者について

審査委員会による検討の結果、以下の皆さまを表彰させていただきます。受賞者の皆さまにつきましては、9月9日（金）に東京都内で表彰式を開催いたします。

なお、審査委員会による検討の過程で、当初予定しておりました「大賞」に加えて、取組みの更なる発展を期待する皆さまを表彰させていただく「特別賞—NEXT CREATE—」を設けております。

大賞



嬉野茶時（うれしのちゃどき） [佐賀・嬉野]

佐賀・嬉野の歴史的伝統文化である嬉野茶・肥前吉田焼・温泉を後世へ守り伝えるため、時代に合わせた新しい切り口でその魅力を表現・発信するプロジェクト。3つの産業が伝わる地域の特徴を活かし、嬉野に根差し様々なジャンルで活躍する人々が参加している。2019年からは、肥前吉田焼や温泉と結び付けたお茶の楽しみ方を「茶空間体験」や「ちゃりん茶輪」「ほちゃ歩茶」など様々なかたちで表現する「テ

ィーツーリズム」を始動。他生産地への展開も進行中。

受賞のポイント

地域文化とラグジュアリーの結び付きを実現した、全国的にも他に例のない素晴らしい取組みである。次々に進化する取組みは歴史的伝統文化の価値を再構築し、当プロジェクトは嬉野という地域の魅力を生み出す中心となっている。また、他の生産地への展開や生産者の地位向上など、日本の茶文化を守ることにも貢献していると言える。

大賞



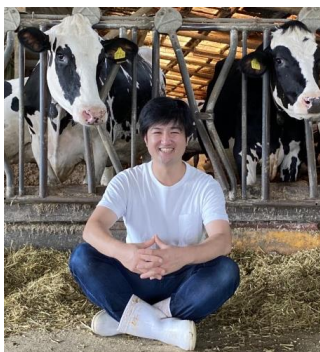
奥津 爾（おくつ ちかし）氏 [長崎・雲仙]

長崎・雲仙で自身が運営する直売所を拠点として、在来種野菜の素晴らしさを地元や全国に広め、在来種を守り継ぐ活動が続ける。農家・岩崎政利氏が約40年にわたって在来種野菜の自家採種を続け、守り継いできた豊かな野菜の多様性を地域内外に発信するため、「オーガニック直売所タネト」を運営。生産者と消費者を繋ぐ拠点となっている。2020年からは食とデザインのイベントを開催するなど、多方面で種採り野菜の魅力を発信。インターンシップ受入等、後進の育成にも取り組む。

受賞のポイント

岩崎氏が長きにわたり守り継いできた野菜の多様性という雲仙の魅力を発信する窓口として地域内外におけるつながり・共働を生み出し、その取組みは生産者の地位向上や野菜の消費拡大、さらには移住者の呼び込みにも繋がっている。タネトを拠点に様々な場所で野菜を楽しめるという環境が生み出され、その広がり自体が観光の目的となっている唯一無二の取組みである。

特別賞 — NEXT CREATE —



中島 大貴（なかしま ひろたか）氏 [佐賀・塩田]

佐賀・嬉野の塩田エリア唯一の酪農家。水田・酪農・堆肥による循環を守り、2021年には、コーヒーの新しい抽出方法であり牛乳の新たな楽しみ方である「MILKBREW COFFEE」というカルチャーのプラットフォームとして、塩田津に築167年の蔵を改装したカフェを開業。

受賞のポイント

持続可能な循環を確立させつつ、時代に合った最終成果物を生み出すという考えのもと、新たな文化を生み出すとともにプラットフォームを創り上げた実行力は素晴らしく、今後、塩田エリアの文化・情報の発信拠点であり地域の交流拠点となることが期待される。

特別賞 — NEXT CREATE —



馬場 匡平（ばば きょうへい）氏 [長崎・波佐見]

長崎・波佐見の波佐見焼産地問屋として、波佐見焼の認知度向上およびブランディングの取組みを行い、2021年には、異文化に触れる場所をつくるため私設公園「HIROPPA」を波佐見に開設した。地元の子どものための遊び場であり、波佐見焼に触れることもできる機会を提供。

受賞のポイント

自らも楽しみながら地域を巻き込み、私費を投じて未来につながる地域への還元を図る姿勢も評価。地域の住民にとっての情報発信・交流拠点であり、今後は波佐見のまちに溶け込んだ観光資源としての更なる発展を期待したい。

特別賞 — NEXT CREATE —



森 一峻（もり かずたか）氏 [長崎・東彼杵]

長崎・東彼杵で地元住民と移住者を繋げ、移住促進や開業支援を行う。地域の交流拠点・情報発信拠点となる「Sorrisorisso 千綿第三瀬戸米倉庫」を運営するとともに、地域の魅力を発信する Web サイト「くじらの髭」を運営。イベント等を通して他地域との連携も積極的に行う。

受賞のポイント

地域の魅力を発信するとともに「住む」最重要課題である「働く」トライアルの場を創り出し、地元住民と移住者の共働を生み出す。土台のない地域で継続的・自然派生的なまちづくりの中心となっている姿は、日本各地の資産を動かすロールモデルになりうる。

■ 最終審査ノミネート者について

その素晴らしい取り組みによって最終審査にノミネートさせていただいた皆さまは以下の通りです。

- ・有田焼卸団地協同組合 および クリエイティブディレクター ^{はまの たかはる} 浜野 貴晴 氏 [佐賀・有田]
- ・ISAHAYA“頂”プロジェクト [長崎・諫早]
- ・NPO 法人 おぢかアイランドツーリズム協会 [長崎・小値賀]
- ・鹿島 酒蔵ツーリズム推進協議会 [佐賀・肥前浜]
- ・NPO 法人 黒島観光協会 [長崎・黒島]

なお、受賞者の皆さまおよび最終審査ノミネート者の皆さまの取り組み内容につきましては、9月6日（火）発売の雑誌 Discover Japan10月号にてご紹介いただく予定です。

【参考】「西九州観光まちづくりAWARD」について

1. 基本理念

西九州に根付き、魅力ある「まち」へと成長させる人物・団体を称え、地域の誇りになり、さらには旅人に感動を与えていく。

2. 目的

佐賀・長崎で、その地域ならではの伝統・伝承を守りながら、新しい「もの」「こと」「風景」を生み出している方々にスポットライトを当て、その土地ならではの魅力を発信する。

3. 授賞対象

本AWARDの趣旨に適い、以下の事業等に従事する人物および団体

- ・飲食店、菓子製造業、農業、漁業 等
- ・工芸、物産、お土産、体験プラン 等
- ・イベント、地域の産業・取組み、複数の事業者・コンテンツで構成するツーリズム形成 等
- ・宿泊施設、民泊 等

4. 審査基準

- (1)「伝統」そのまち固有の風土、歴史、伝承を尊重している。
- (2)「進化」既存の概念にとらわれず、未来につながる新たな価値を創造している。
- (3)「循環」豊かな自然を生かし・守り、持続的に発展している。
- (4)「共働」まち全体を巻き込みながら、尽力している。
- (5)「多様」旅人、住民を問わず、誰もが体感できる。

5. 運営体制

<審査委員会> 審査委員長：九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員 古宮 洋二

審査委員：高橋 俊宏（Discover Japan 編集長）

立川 裕大（伝統技術ディレクター）

永山 祐子（建築家）

福田 里香（菓子研究家）

宮崎 香蓮（俳優）

※敬称略、五十音順で記載

<事務局>九州旅客鉄道株式会社 営業部